

図説脳神経外科 ~second edition~

(第36回)

自然退縮したラトケ嚢胞の二症例

菅田 淳^{1, 2)} 藤尾 信吾^{1, 2)} 牧野 隆太郎^{1, 2)}
花田 朋子^{1, 2)} 花谷 亮典¹⁾

¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学

²⁾鹿児島大学病院 下垂体疾患センター

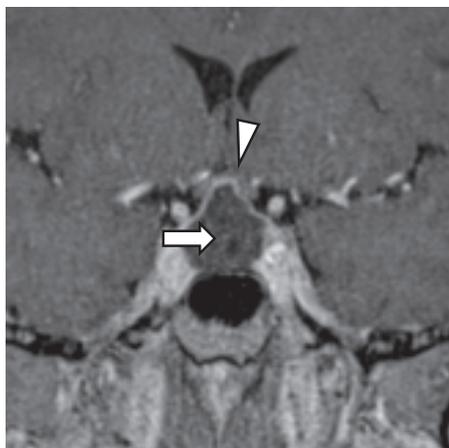
【はじめに】

ラトケ嚢胞は、胎生期に形成されるラトケ嚢に由来するトルコ鞍部の嚢胞性疾患である。嚢胞が増大し、視力・視野障害を呈する場合には手術が考慮される。一方で、ラトケ嚢胞は経過中に自然退縮することがある。本報告では、手術を検討したものの、術直前に自然退縮を認めたと自験例について紹介する。

【症例1】

40歳代の男性。特記すべき既往歴はない。以前から慢性的な頭痛あったが、普段よりも強い頭痛を自覚し前医を受診した。頭部MRI検査を施行したところ、鞍内から鞍上部にかけて長径21mmの嚢胞

A



性病変を認めた(図1)。また、近医眼科での静的視野検査で両側耳側上方の視野欠損が明らかとなった。症候性のため手術適応と判断したが、離島在住であったため、必要な術前検査を前医で終え、手術加療目的に当科に入院した。しかし、入院時に頭部MRIを再検したところ、嚢胞は自然退縮し、視路の圧排は解除されていた(図2)。視野障害も改善しており、保存的に経過をみる方針とし、現在も前医にて経過観察中である。

【症例2】

40歳代の女性。特記すべき既往歴はない。左眼球突出のため精査を受け、左眼窩内腫瘍とトルコ鞍部の嚢胞性病変を

B

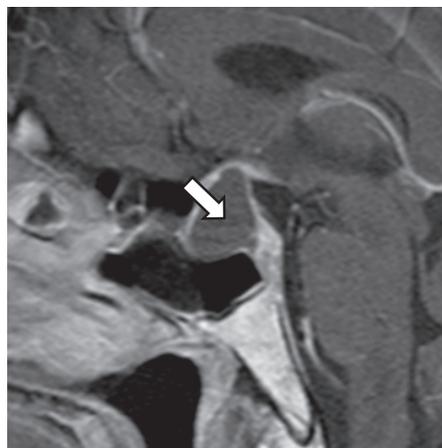


図1：症例1の当科受診前の頭部MRI造影T1強調画像。A：冠状断、B：矢状断。

トルコ鞍内から鞍上部にかけて嚢胞性病変(矢印)を認め、視交叉(矢頭)が上方に圧排されている。

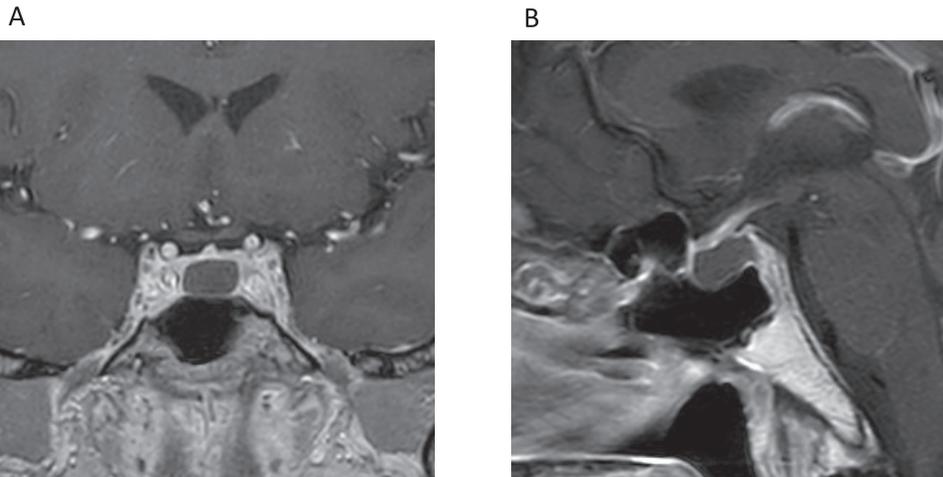


図2：症例1の当科受診後の頭部MRI造影T1強調画像。A：冠状断、B：矢状断。
トルコ鞍部の嚢胞は縮小し、視交叉の圧排は改善している。

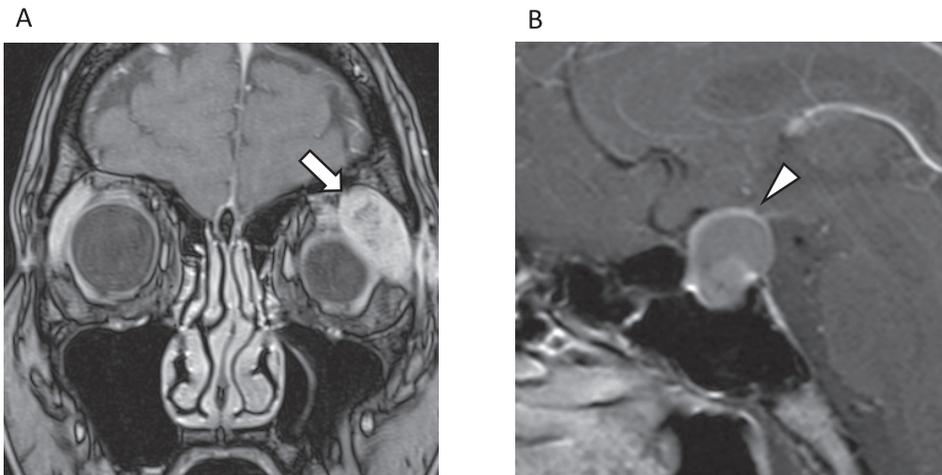


図3：症例2の術前の頭部MRI造影T1強調画像。A：冠状断、B：矢状断。
A：左眼窩内の外側上方に造影効果を伴う腫瘍性病変(矢印)を認める。
B：トルコ鞍部内から鞍上部にかけて嚢胞性病変(矢頭)を認める。

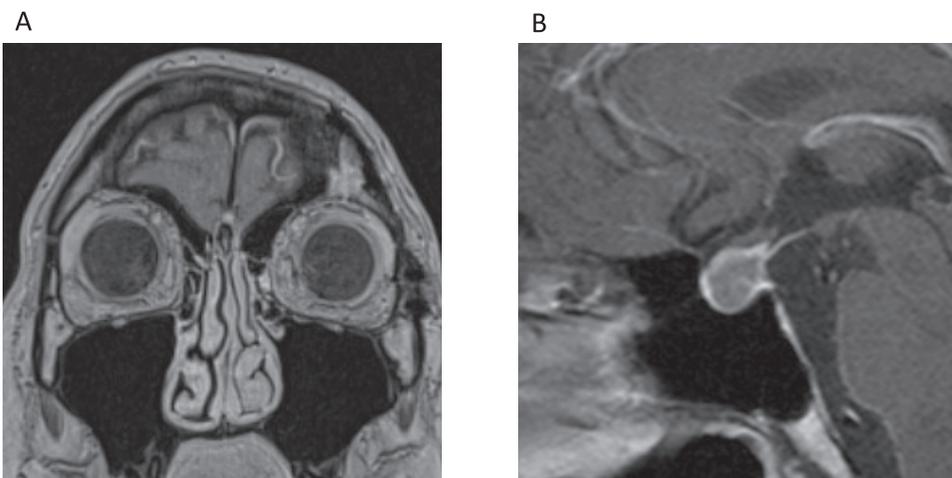


図4：症例2の開頭腫瘍摘出術後の頭部MRI造影T1強調画像。A：冠状断、B：矢状断。
A：左眼窩内腫瘍は摘出されている。B：トルコ鞍部の嚢胞は縮小している。

指摘された(図3)。眼科的検査では視力視野障害を認めなかったが、左下斜筋の障害を認めた。当初、IgG4関連疾患を背景とした一連の腫瘍性病変である可能性を考慮したが、一方で涙腺腫瘍に偶発的にラトケ嚢胞を合併していることも考えられた。FDG-PET検査を行ったところ眼窩内腫瘍に一致して集積があり、悪性腫瘍が疑われたため、まず眼窩内腫瘍に対して開頭腫瘍摘出術を行った。病理診断は粘表皮癌であった。トルコ鞍部の嚢胞性病変に対しても手術加療を予定していたが、眼窩内腫瘍に対する手術から4ヵ月後の頭部MRI検査で眼窩内腫瘍の残存はなく、一方で、トルコ鞍部の嚢胞性病変は自然退縮していた(図4)。以上の経過からも、トルコ鞍部の嚢胞性病変は偶発的に合併したラトケ嚢胞と考えられた。その後、10年間以上経過しているが、眼窩内腫瘍もラトケ嚢胞も再燃なく経過している。

【考察】

Kinoshitaらは、保存的に経過をみた229例のラトケ嚢胞について、23例(10.0%)が増大し、73例(31.9%)が自然退縮したと報告している¹⁾。嚢胞が大きい症例、嚢胞内に結節を認める症例、フォローアップ中に嚢胞の大きさが変動する症例、そして急性の頭痛で発症した症例は、嚢胞が自然退縮することが有意に多かった。特に急性の頭痛で発症した症例に関しては、嚢胞内の出血や嚢胞の破裂による内容物の漏出が関与しているのではないかと推定されている。一般的に視機能障害を呈するラトケ嚢胞に対しては手術加療が推奨されるが、これらの症例のように自然退縮する可能性もあるため注意が必要である。画像診断から手術加療が施行されるまでの間に一定の期間が空いた場

合、患者の症状を慎重に観察し、急性の頭痛や、視野障害の改善を自覚している症例では、手術加療の前に画像検査を再検した方が良いと思われる。

引用文献

- 1) Kinoshita Y, et al. Natural course of Rathke's cleft cysts and risk factors for progression. J Neurosurg. 2022 ; 138 : 1426 - 1432.